

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公開番号】特開 2000-328817 (P2000-328817A)
 【公開日】平成 12 年 11 月 28 日 (2000.11.28)
 【出願番号】特願 2000-129778 (P2000-129778)
 【国際特許分類】

E 0 5 B 1/00 (2006.01)

【F I】

E 0 5 B 1/00 3 1 1 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 5 月 1 日 (2007.5.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ハンドル本体と；
 上記ハンドル本体内のキャビティと；
 上記キャビティ内にある取付けブロックと；
 上記取付けブロックから突出した回転部材と；
 上記キャビティ内でそれぞれが 1 つの回転部材と回転できるジャーナル軸受と；
 上記回転部材が上記ジャーナル軸受と回転係合して前記ハンドルが取付けブロックに対して第 1 と第 2 の位置の間で回転できるように上記キャビティ内に上記取付けブロックを保持する保持部材と；
 上記キャビティ内に設けられ、上記回転部材がスライドしてこのキャビティ内に取付けブロックを位置づける端部開放の溝と；
 から構成されることを特徴とする折畳式ハンドル。

【請求項 2】 取付けブロックが、軸の端部を受ける第 1 の穴と、第 1 の穴と交差する第 2 の穴とを有しており、第 2 の穴は、回転可能な要素が第 1 の穴に位置しているときに、取付けブロックを上記軸に固定するための固定具を受容することができる請求項 1 に記載のハンドル。

【請求項 3】 回転部材が反対方向に突出している一对の栓を含む請求項 1 に記載のハンドル。

【請求項 4】 キャビティが、対向する側壁を含み、上記端部開放の溝は各側壁に形成され、前記溝はジャーナル軸受の表面と接続している請求項 1 に記載のハンドル。

【請求項 5】 第 1 の位置および / または第 2 の位置を決定する取付けブロックに係合する接触面を更に有する請求項 4 に記載のハンドル。

【請求項 6】 ハンドルが第 1 の位置および第 2 の位置の一方または両方にあるときに取付けブロックに対するハンドルの運動に抵抗する抵抗機構を更に含む請求項 4 に記載のハンドル。

【請求項 7】 保持部材が移動止め作用を与える請求項 1 に記載のハンドル。

【請求項 8】 保持部材が、取付けブロック内の少なくとも 1 つの移動止めに係合するように形成された末端を備えるカンチレバー形クリップである請求項 7 に記載のハンドル。

【請求項 9】 取付けブロックが離間した一对の移動止めを有する請求項 8 に記載のハンドル。